

土地改良事業計画変更概要書

(県営用排水施設整備事業)

地 区 名 入江Ⅴ期地区

事業主体 滋 賀 県

目

次

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域	1
第2節	地積	1
第3節	気象及び海象	2
第4節	土地状況	3
第5節	水利状況	5
第6節	地域農業の概況	5
第7節	地域環境の概況	8
第3章	基本計画	9
第1節	事業計画の要旨	9
第2節	営農計画及び土地利用計画	9
第3節	環境配慮	11
第4章	工事又は管理の要領	12
第1節	用水施設	12
第2節	排水施設	12
第3節	道路及び索道	12
第4節	農用地整備施設	12

第5章	費用の概算	13
第6章	効用	13
第7章	他の事業との関係	14
第8章	計画概要図	14

第1章 目的

本地区は、昭和18年～昭和26年の国営琵琶湖干拓事業(以下「国営事業」)により造成された常時機械排水が必要となる干拓地である。国営事業において第1機場(排水機(電動)4台)が設置されている。その後、昭和34年の伊勢湾台風による県営災害復旧事業により、昭和37年に第2機場(排水機(ディーゼル)2台)が増設されている。これらの排水機は基幹施設として本地区を湛水被害から守る重要な施設であり、これまで摩耗等による排水能力の低下に対応するため、県営ため池等整備事業により、昭和57年から平成15年にかけて順次更新整備を実施してきた。一方で、泥炭質土壌及び強グライ土壌等からなる軟弱地盤のため、排水路の側面や底面から細粒土が流出し、幹線排水路を通じて泥土や細砂の吸込みが多く摩耗が進みやすいなど、干拓地特有の課題を抱えており、現在も能力低下が進行している状況にある。

近年、道路事業(国道8号米原バイパス等)や地区内の宅地開発による流出形態の変化に起因して、洪水時に農地等への被害も生じている状況にある。

本地区の排水機場は干拓地の湛水被害を防ぐ重要な機能を担っている。干拓地では流出する排水は全て機械に頼らなければならない。こうした中、農地防災を目的として造成された排水機が脆弱化していることから、適切に改修を行い施設機能を維持する必要がある。このため、前歴事業で造成された排水機(ポンプ及びこれと一連の設備)について、機能保全計画に基づき機能保全対策を実施すべく、本事業により排水機能保全対策工事を実施するものである。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域

滋賀県米原市入江字明神、丸葭、善積、入江

第2節 地積

(令和7年9月現在)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用排水施設整備事業	米原市	(178.9)	(11.4)	(〃)	(〃)	(〃)	(190.3)	
		178.3	10.0	-	-	-	188.3	
合 計		(178.9)	(11.4)	(〃)	(〃)	(〃)	(190.3)	
		178.3	10.0	-	-	-	188.3	

第3節 気象及び海象

1 一般気象

観測所名	彦根地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備 考
観測期間	昭和41年～平成27年	5月 ～ 9月	10月 ～ 4月		
平 均 気 温 (℃)		22.8 ℃	8.6 ℃	14.5 ℃	
降 水 量	平 均 (mm)	851 mm	763 mm	1,614 mm	
	基準年 (mm)	644 mm	824 mm	1,468 mm	
降水日数	平 均 (日)	53 日	80 日	133 日	
	基準年 (日)	35 日	82 日	117 日	
根 雪 期 間		-		- 日間	
無 霜 期 間		-		- 日間	
最 多 風 向		W	最大風速 (風向)	23.9 m/s (WNW)	最多風向発生時期 1月 ～ 12月 最大風速発生年月日 昭和54年10月1日

2 特殊気象

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	彦根地方気象台															
観 測 期 間	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	
昭和41年～平成27年																
最大日雨量(mm)	181.0	S47. 9. 16	1/14 5	172.0	H 2. 9. 19	1/92	151.0	S46. 9. 6	1/31	126.0	H17. 7. 4	1/9	124.0	S57. 8. 1	1/8	
最大時間雨量(mm)	63.5	H13. 7. 17	1/65	63.0	S46. 7. 8	1/62	54.5	S43. 8. 25	1/20	49.0	H26. 8. 15	1/10	47.5	S47. 9. 16	1/8	
最大連続雨量(mm)	316.5	S47. 7. 9 ～ 7. 15	1/23	307.5	H 2. 9. 13 ～ 9. 20	1/19	304.5	H 9. 7. 7 ～ 7. 13	1/18	297.5	S51. 9. 7 ～ 9. 14	1/15	286.5	H18. 7. 15 ～ 7. 21	1/12	
最大連続干天日数 (日)	47	S61. 7. 24 ～ 9. 8	1/45	45	S42. 5. 11 ～ 6. 24	1/37	42	S46. 11. 1 ～ 12. 12	1/26	39	H12. 8. 3 ～ 9. 10	1/19	38	H10. 10. 28 ～ 12. 4	1/17	

第4節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他									受益地標高(m)		備 考
	傾 斜 区 分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低		
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 15°							
用排水施設 整備事業	面積(ha)	(178.9) 178.3	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(11.4) 10.0	(〃) 86.0	(〃) 82.4		
	比率(%)	(〃) 100	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) 100	(〃) 100	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) 100				
合 計	面積(ha)	(178.9) 178.3	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(11.4) 10.0				
	比率(%)	(〃) 100	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) 100	(〃) 100	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) －	(〃) 100				

項 目 土壌統（区）名	土 壌 統 続（区） 分 一 覧 表								面 積（ha）			備 考	
	土 壌 断 面							堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	用排水施設 整備事業		計
					表土	下層土							
					一層	二層	三層						
泥炭質土壌強粘土型	灰褐色	なし	なし	-	SiC	SiC	LiC	作土直下	水積	ヨシ等	(115.4) 115.0	(115.4) 115.0	B10
強グライ土壌強粘土斑鉄型	青灰色	なし	なし	50cm以内有	SiC	LiC	SiCL	15cm	水積	非固結 水成岩	(43.3) 43.2	(43.3) 43.2	D31
強グライ土壌砂礫土湧水型	青灰色	なし	60cm 以内有	-	SiC	S	S	作土直下	水積	非固結 水成岩	(13.0) 13.0	(13.0) 13.0	D37
灰褐色土壌強粘土構造型	灰褐色	なし	なし	-	L	L	L	なし	水積	非固結 水成岩	(7.2) 7.2	(7.2) 7.2	G60
計											(178.9) 178.3	(178.9) 178.3	水田のみ

2 土地分類 該当なし

3 土地利用の状況

(令和7年9月現在)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
用排水施設整備事業	米原市	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	
合 計		(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	

4 土地所有の状況

(令和7年9月現在)

事業名	所有別 区分	個 人 所 有					計	備 考
用排水施設整備事業	面 積 (ha)	(190.3) 188.3					(190.3) 188.3	
	受益者数 (人)	(576) 558					(576) 558	
	筆 数 (筆)	(1,771) 1,761					(1,771) 1,761	
	権 利 関 係	所有権						
	備考(関係戸数)	(〃) -					(〃) -	

第5節 水利状況

承水溝に囲まれた干拓地であり、琵琶湖を水源として承水溝に設けられた取水樋門より地区内農地をかんがいしている。

地区内の支線排水路は、プレハブ柵工(A型・B型)により整備されているが、干拓地特有の泥炭質土壌及び強グライ土壌等からなる軟弱地盤であるため、支線排水路の側面や底面からも細粒土が流出するなど、法面維持が困難な状況にある。

この支線排水路を通じて、干拓地中央を流下する幹線排水路から吸水槽に集められ、排水機により承水溝を通じて琵琶湖に機械排水される。

第6節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

項目	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	水熱電 道供 業給ス (人)	通運 業輸 (人)	卸売 小売 業 (人)	金融 保険 業 (人)	不動 産 業 (人)	サー ビス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
市町村名																
米原市	19,004	571	21	15	35	1,043	5,349	70	1,139	2,297	300	175	6,592	699	698	
計	19,004	571	21	15	35	1,043	5,349	70	1,139	2,297	300	175	6,592	699	698	
比率(%)	100	3	0	0	0	5	28	0	6	12	2	1	35	4	4	

資料：令和2年国勢調査

2 経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

区分	農業 経営 体 数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数(経営体)														1経営体当たり平均農用地面積(ha)						耕地の 分散状況		備 考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 ～ 30.0 ha	30.0 ～ 50.0 ha	50.0 ～ 100.0 ha	100.0 ～ 150.0 ha	150.0 ha 以上	田	畑	樹園地	小計	草地	計	団一 地戸 数当 たり	面団 積地 当 たり (ha)	
市町村名																								
米原市	631	16	175	214	72	27	35	21	33	18	7	8	3	2	-	2.9	0.1	0.0	0.0	-	0.0	-	-	
計	631	16	175	214	72	27	35	21	33	18	7	8	3	2	0	2.9	0.1	0.0	3.0	-	3.0	-	-	
比率(%)	100	3	28	35	11	4	6	3	5	3	1	1	0	0	0	97	3	0	100	-	100	-	-	

資料：2020年農林業センサス

3 主要家畜頭数

市町村名	項 目		主 要 家 畜								備 考
	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		ブロイラー		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
米原市	-	-	-	-	x	x	-	-	-	-	「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	-	-	-	-	x	x	-	-	-	-	
100経営体当たり 数量(頭・100羽)	-		-		-		-		-		
飼養経営体数 割合 (%)	-		-		-		-		-		

資料：2020年農林業センサス

4 主要作物作付状況

市 町 村 名			米原市						計	平 均	作付率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			2,470						2,470	2,470		
総 本 地 面 積 (ha)			2,330						2,330	2,330		
区 分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	水稻	1,370	483					1,370	483	58.8	
		大豆	147	109					147	109	6.3	
		小麦	252	223					252	223	10.8	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
小 計			1,769						1,769		75.9	
畑									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
小 計			-						-		-	
樹園地									-	-	-	
									-	-	-	
									-	-	-	
小 計			-						-		-	
計			1,769						1,769		75.9	
市町村別延べ作付率(%)			75.9						75.9			

資料：令和5年作物統計

5 農業の動向

項 目	農業経営体			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業 経営体数	72	50	耕 地	101	99	水 稻	98	93	乳用牛	-	-	農業振興地域 〈旧米原町〉 指定 S47.10 許可 S48.11	A:令和2年 (農林業センサス) B:平成27年 (農林業センサス) C:平成22年 (農林業センサス)
	個人 経営体数	72	49	田	102	100	小 麦	108	102	肉用牛	-	-		
	団体経営体 (法人)数	133	217	畑	83	62	大 豆	102	89	豚	-	-		
	団体経営体 (非法人)数	75	50	樹園地	110	50				採卵鶏	-	-		
										ブロイラー	-	-		
変化の理由	他産業の収益増大による農業労働力の流出により農業経営体数は減少となっている。一方で、団体経営体(法人)数は増加している。			農地の宅地等への転用により、耕地面積が減少している。			転作割合の増加による。			統計データに秘匿や事実がないものがあり、把握困難。				

資料：2020, 2015, 2010年 農林業センサス、作物統計

「-」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第7節 地域環境の概況

1 自然環境

当地区は、かつて入江内湖と称し南は松原内湖と接した面積約300haの風光明媚な湖沼であった。戦中から戦後にかけて、食糧増産を目的に琵琶湖干拓事業が各地で行われたが、その最初の地区として、昭和19年に農地開発営団により工事が始まった。承水溝や用排水施設が整備され、昭和25年に256haが干陸化し新たな農地が造成された。しかし、ほとんどの施設が軟弱地盤上に築造されており、年月の経過とともに老朽化が進行している。

野生生物は、平野部の河川や耕地には、カエルなどの両生類、ヘビなどのハ虫類などがみられる。植生についてはほぼ全域が水田雑草群落によって形成されている。

2 社会環境・地域指定

土地利用に関する指定地域として、旧米原町全域が都市計画法による彦根長浜都市計画区域に指定されている。また集落部分を除く干拓地域全体が農業振興地域に指定されており、そのうち農用地等に適している土地で特に農業振興面から確保すべきものとして農用地区域を設定し、各地域の実情に応じた農業振興施策を展開している。

3 生活環境

該当なし

第3章 基本計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本地区は、昭和18年～昭和26年の国営琵琶湖干拓事業(以下「国営事業」)により造成された常時機械排水が必要となる干拓地である。国営事業において第1機場(排水機(電動)4台)が設置されている。その後、昭和34年の伊勢湾台風による県営災害復旧事業により、昭和37年に第2機場(排水機(ディーゼル)2台)が増設されている。これらの排水機は基幹施設として本地区を湛水被害から守る重要な施設であり、これまで摩耗等による排水能力の低下に対応するため、県営ため池等整備事業により、昭和57年から平成15年にかけて順次更新整備を実施してきた。一方で、泥炭質土壌及び強グライ土壌等からなる軟弱地盤のため、排水路の側面や底面から細粒土が流出し、幹線排水路を通じて泥土や細砂の吸込みが多く摩耗が進みやすいなど、干拓地特有の課題を抱えており、現在も能力低下が進行している状況にある。

近年、道路事業(国道8号米原バイパス等)や地区内の宅地開発による流出形態の変化に起因して、洪水時に農地等への被害も生じている状況にある。

本地区の排水機場は干拓地の湛水被害を防ぐ重要な機能を担っている。干拓地では流出する排水は全て機械に頼らなければいけない。こうした中、農地防災を目的として造成された排水機が脆弱化していることから、適切に改修を行い施設機能を維持する必要がある。このため、前歴事業で造成された排水機(ポンプ及びこれと一連の設備)について、機能保全計画に基づき機能保全対策を実施すべく、本事業により排水機能保全対策工事を実施するものである。

2 事業別面積

事業名 土地利用区分 事業目的	用排水施設整備事業																		計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水路 等 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水路 等 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水路 等 (ha)	小 計 (ha)		
用排水施設整備事業	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3						-						-	(190.3) 188.3	
計	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(190.3) 188.3	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

農地の利用集積による大型機械の導入、農地整備等により耕地の生産性を向上し、機械化一貫体系を確立して水稻を中心に小麦、大豆を取り入れた複合輪作体系を促進し、担い手農家の育成を図る。

2 土地利用区分

事業名	土地利用 区分	水 田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
用排水施設整備事業	現 況	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	(〃) -	(〃) -	(114.9) 116.9	(〃) 305.2	
	計 画	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	(〃) -	(〃) -	(114.9) 116.9	(〃) 305.2	
計	現 況	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	(〃) -	(〃) -	(114.9) 116.9	(〃) 305.2	
	計 画	(178.9) 178.3	(11.4) 10.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(190.3) 188.3	(〃) -	(〃) -	(114.9) 116.9	(〃) 305.2	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
用排水施設整備事業	現況・計画	水稻＋ 麦・大豆・露地 野菜	水田				○	△	水稻		×	×	○						小麦		×	○									○	△	水稻		×	×					○—○ 播種
												○		□						たまねぎ		×	×																	△—△ 移植	
													□							にんにく		×	×																	□—□ 定植	
																																								×	×

4 生産計画

事業名	項 目		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量(kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
	地目名			現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
用排水施設整備事業	水田	表作	水稲	(125.9) 125.3	(125.9) 125.3	(〃) -	(70.3) 70.3	(70.3) 70.3	(489) 490	(489) 490	(〃) -	(615.7) 614.0	(615.7) 614.0	(〃) -	(〃) -	(〃) -	
			大豆	(41.9) 41.8	(41.9) 41.8	(〃) -	(23.4) 23.4	(23.4) 23.4	(111) 118	(111) 118	(〃) -	(46.5) 49.3	(46.5) 49.3	(〃) -	(〃) -	(〃) -	
			小 計	(167.8) 167.1	(167.8) 167.1	(〃) -	(93.7) 93.7	(93.7) 93.7									
		裏作	小麦	(40.3) 40.2	(40.3) 40.2	(〃) -	(22.5) 22.5	(22.5) 22.5	(214) 236	(214) 236	(〃) -	(86.2) 94.9	(86.2) 94.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	
			たまねぎ	(1.3) 1.3	(1.3) 1.3	(〃) -	(0.7) 0.7	(0.7) 0.7	(2,339) 2,366	(2,339) 2,366	(〃) -	(30.4) 30.8	(30.4) 30.8	(〃) -	(〃) -	(〃) -	
			にんにく	(0.3) 0.3	(0.3) 0.3	(〃) -	(0.2) 0.2	(0.2) 0.2	(166) 232	(166) 232	(〃) -	(0.5) 0.7	(0.5) 0.7	(〃) -	(〃) -	(〃) -	
			小 計	(41.9) 41.8	(41.9) 41.8	(〃) -	(23.4) 23.4	(23.4) 23.4									
		計			(209.7) 208.9	(209.7) 208.9	(〃) -	(117.1) 117.1	(117.1) 117.1								
	普通畑	春夏作															
			小 計	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -									
		秋冬作	たまねぎ	(11.4) 10.0	(11.4) 10.0	(〃) -	(6.4) 6.4	(6.4) 6.4	(2,339) 2,366	(2,339) 2,366	(〃) -	(266.6) 236.6	(266.6) 236.6	(〃) -	(〃) -	(〃) -	
			小 計	(11.4) 10.0	(11.4) 10.0	(〃) -	(6.4) 6.4	(6.4) 6.4									
		計			(11.4) 10.0	(11.4) 10.0	(〃) -	(6.4) 6.4	(6.4) 6.4								
合 計			(221.1) 218.9	(221.1) 218.9	(〃) -	(123.5) 123.5	(123.5) 123.5										

※作付面積は本地面積

第3節 環境配慮

- ・工事施工に際しては、低振動型・低騒音型の機械を使用し、周辺の環境に十分配慮する。

第4章 工事又は管理の要領

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設

1 排水水門 該当なし

2 排水機

項 目 名称	位 置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備 考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	
入江干拓 排水機場	米原市 入江	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
		7.133	4.7～4.8	4.7～4.8	4.7～4.8	4.7～4.8	4	電動	55kW、90kW	4	第1排水機場
					4.7～4.8	4.7～4.8	2	ディーゼル	130ps	2	第2排水機場
計		() 7.133					() 6			() 6	

3 排水路 該当なし

4 その他排水施設

(除塵設備、起伏堰遠隔操作制御設備)

除塵設備、遠隔監視制御設備

第3節 道路及び索道 該当なし

第4節 農用地整備施設 該当なし

第5章 費用の概算

項 目	金 額 (千円)	備 考
排水機	(662,000) 978,458	
除塵設備	(50,000) 152,096	
純工事費計	(712,000) 1,130,554	
測量試験費	(11,000) 60,446	
計	(723,000) 1,191,000	
工事雑費	(7,000) 11,362	
事務費	(29,000) 47,638	
合 計	(759,000) 1,250,000	

第6章 効用

事業名	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
	区分			
用排水施設整備事業	作物生産効果	(21,500) 23,326	(38) 48	
	営農経費節減効果	(114,261) 120,738	(〃) -	
	維持管理費節減効果	(△8,199) △9,746	(426) 536	
	災害防止効果(農業関係資産)	(15,233) 17,527	(〃) -	
	災害防止効果(一般資産)	(19) 21	(〃) -	
	災害防止効果(公共資産)	(977) 1,108	(〃) -	
	国産農産物安定供給効果	(2,938) 5,990	(〃) -	
	計	(146,729) 158,964	(464) 584	

< 参考 > 総便益額 : (3,037,776)
3,909,371 千円

第7章 他の事業との関係

区 分	事 業 名	事業主体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
	県営経営体育成基盤整備事業 (入江善積地区)	滋賀県	66.9	農地整備

第8章 計画概要図

別添のとおり

全体計画平面図(変更前)

S=1:10,000(A3)

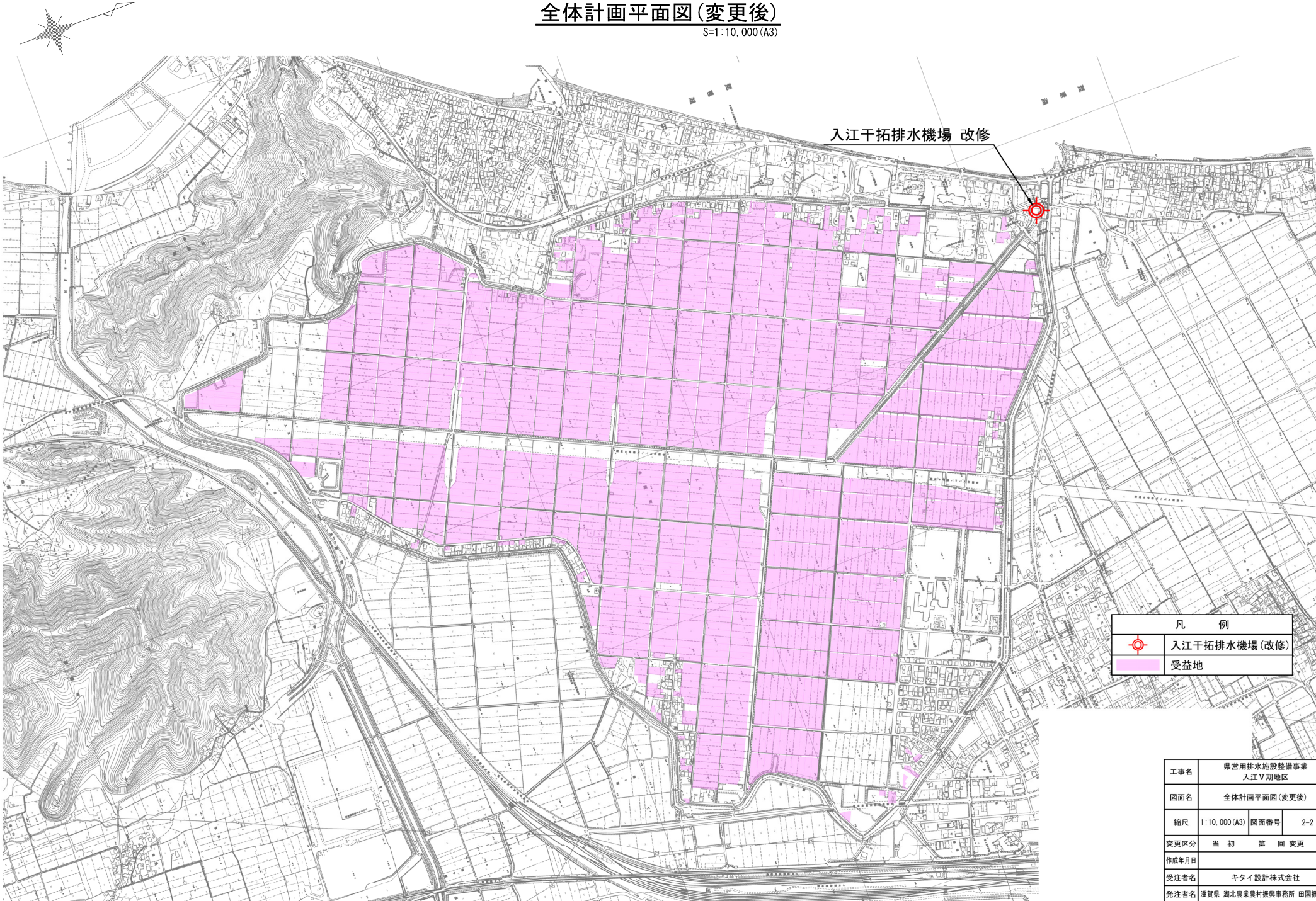
入江干拓排水機場 改修

凡 例	
	入江干拓排水機場(改修)
	受益地

工事名	県営用排水施設整備事業 入江V期地区		
図面名	全体計画平面図(変更前)		
縮尺	1:10,000(A3)	図面番号	2-1
変更区分	当 初	第 回	変 更
作成年月日			
受注者名	キタイ設計株式会社		
発注者名	滋賀県 湖北農業農村振興事務所 田園振興課		

全体計画平面図(変更後)

S=1:10,000(A3)



凡 例	
	入江干拓排水機場(改修)
	受益地

工事名	県営用排水施設整備事業 入江V期地区		
図面名	全体計画平面図(変更後)		
縮尺	1:10,000(A3)	図面番号	2-2
変更区分	当 初 第 回 変 更		
作成年月日			
受注者名	キタイ設計株式会社		
発注者名	滋賀県 湖北農業農村振興事務所 田園振興課		